

市民記者が行く! 広報サポーターレポート



愛知こどもの国に ウルトラヒーロー登場!



広報サポーター
長瀬拓也さん(高島町)

東幡豆町にあるテーマパーク「愛知こどもの国」。名鉄蒲郡線こどもの国駅に隣接したこのテーマパークでは、さまざまなイベントが行われています。10月6日、この日も「たくましい



▲大勢の来場者の前で活躍するウルトラヒーローたち。子どもたちの声援を力に変えて怪獣と戦っていました。

西尾っ子大会」などいくつものイベントが行われていました。私はそのうちの1つの市制60周年記念事業「ウルトラヒーローショー」取材してきました。子どもたちに大人気のウルトラヒーローを招くというこの企画なるほど、開始10分前になると用意した座席が満席となり、世代を超えた人気の高さがかげえました。ショーが始まると子どもたちの目は舞台にくぎ付けでした。この日登場したウルト



▲ウルトラマンが大好きという三田村さんご一家

ラヒーローは「ウルトラマンギンガ」「ウルトラマンサーガ」「ウルトラマンタロウ」。そして大怪獣バトルでおなじみ、「レイ隊員」も登場しました。久しぶりに西尾市へ帰ってきたレイ隊員が怪獣と遭遇。サーガが助けに入り、ギンガも登場するというストーリー。会場の子どもたちからの「ガンバレ!」コールもあり、見事怪獣たちに勝利しました。ショーの最後にはヒーローとの握手会があり、私も童心に帰り参加しました。名古屋から三田村さん一家は、レイの南翔太さんのファン。ショーの感想の第一声はもちろん「面白かった!」。西尾市の情報にショーの中が含まれていたところも良かったとのこと。お子さんたちも笑顔でウルトラマンの活躍について教えてくれました。お子さんにレイ隊員になみなみ「レイ」さんという名前を

付けるほど熱心なファンのご一家でした。

愛知こどもの国の企画や、市民団体による活性化活動は近年になって活発化しています。10月には「愛知こどもの国大学」が、11月には来年度始まる西尾市の市民映画制作のためのワークショップが開催されました。また、市制60周年の記念CMを制作している「若い世代でつくる西尾映像団」は、愛知こどもの国のCMを制作しています。

こうした市民による活動、愛知こどもの国が主催するさまざまなイベントなどが、今後も人々が集い、家族で楽しめるテーマパークへの原動力となることでしよう。この記事を読まれた皆さんも、愛知こどもの国で開催されるさまざまな企画に参加してみたいかがでしょうか?



▲レイ隊員こと地元寺部町出身の南翔太さん。しっかりPRしてくださりました。

広報サポーターは公募により選ばれた市民記者です。これ以外にも市民の目線で市内各地のイベントなどを取材していただきます。